成果の説明書

(氏名) 津曲達也	(学部) 地域政策学部

1　重要事項

(1) 教育

・ 「初年次教育」、「情報基礎Ⅰ」、「データサイエンス入門」、「グループ研究Ⅱ」を担当した。

・ 数理・データサイエンス・AI 学修プログラムにおける応用基礎レベルの科目『データサイエンス基礎：AI 概論』、『データサイエンス基礎：プログラミング・数学』の検討・立ち上げに関わった。

(2) 研究

・ 大学の初年次のキャリア教育科目を対象に構造的トピックモデルを用いて、自由記述レポートから学習状況の分析を行った。

【論文】

T.Tsumagari, Y.Nakazato, T.Tsumagari (2024) A Case Study of Using the Structural Topic Model to Grasp Actual Learning through Free-Writing Reports, IIAI Letters on Institutional Research, vol.4, pp.1-9.

・ 地域密着型教育を実施している大学の研究室を対象として、地域密着型教育の長期的な効果を分析した。

【論文】

T.Tsumagari, Y.Nakazato, T.Tsumagari (2024) A Study on the Influence of Community-Based Education on Post-University Workers and Its Time Dependence, International Institute of Applied Informatics,vol.8, pp.1-14.

中里陽子・津曲達也（2025）「社会科学系学部研究室の専門ゼミが卒業後の社会人に与える教育効果についての事例研究」『鹿児島大学総合教育機構紀要』vol.8, pp.1-16.

・ 学内で採択された研究奨励費において、高崎市に本社のある企業やスタートアップ企業を対象にデータ活用人材やデータサイエンス教育に関するニーズ調査を行った。

(3) 社会活動

・ 16th International Conference on Data Science and Institutional Research (DSIR 2024)のプログラム委員を務めた。

・ ラジオゼミナールの講師を務めた。

・ 聖学院大学総合研究所「基礎自治体ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究会」の研究員を務め、つくば市などの視察を行なった。

2　その他の事項

・ 学内の SD（職員向け研修）において，講師として入試動向やデータ活用に関する講習を行った。また、入試動向に関連して、群馬県の高等学校を対象に大学合格状況の調査を行った。

・ 学内 IR における分析業務を担当した。

・ 学内基礎教育センター数理・データサイエンス部会に所属し、数理・データサイエンス・AI 学修プログラムの自己点検を行なった。

・ 文部科学省「数理・データサイエンス・AI 認証プログラム認証制度」（リテラシーレベル）で採択された大学のシラバスや教材等の調査を行った（継続中）。

3　次年度以降の計画・抱負

・　『文系学部学生のためのデータサイエンス教育の最適化：大学入学前の経験の影響分析』（若手研究）を進める。
・　高崎経済大学におけるデータサイエンス教育推進に向けて、データサイエンスやその教育の最新動向や、その他関連調査をもとに、教育や教材づくりを進める。
・　学内業務におけるデータ活用の推進に務める。